

# Market Watching

発表日: 2020年3月2日(月)

## コロナショックに揺れるマーケット(マーケットウィークリー)

～最後の砦米国が崩れれば世界同時不況も～

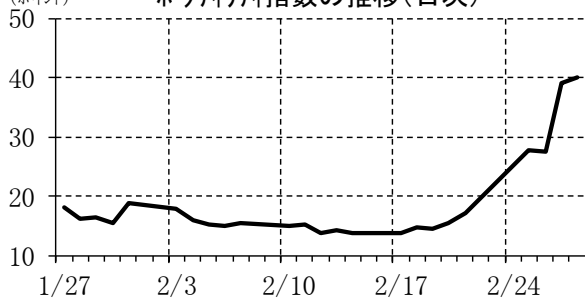
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

### 【先週の市場動向】

#### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
2月24日(月)	ドイツ: ifo景気動向指数 (2月)	96.1	95.3	95.9	ポイント
2月25日(火)	米国: 消費者信頼感指数 (2月)	130.7	132.3	131.6	ポイント
2月26日(水)	米国: 新築住宅販売件数 (1月)	76.4	70.9	69.4	万件
2月27日(木)	米国: 実質GDP改定値 (10-12月期)	+2.1%	+2.2%	+2.1%	前期比年率
	米国: 製造業受注 (1月) ・ 耐久財	▲0.2%	▲1.5%	+2.4%	前月比
	・ 非国防資本財 (除航空機)	+1.1%	+0.1%	▲0.8%	前月比
2月28日(金)	日本: 都区部消費者物価指数 (2月) ・ 総合	+0.4%	+0.5%	+0.6%	前年比
	・ 除生鮮食品	+0.5%	+0.6%	+0.7%	前年比
	日本: 労働力調査・失業率 (1月)	2.4%	2.2%	2.2%	
	日本: 一般職業紹介状況・有効求人倍率 (1月)	1.49倍	1.57倍	1.57倍	
	日本: 鉱工業生産指数 (1月)	+0.8%	+0.2%	+1.2%	前月比
	日本: 商業動態統計・小売業販売額 (1月)	▲0.4%	▲1.0%	▲2.6%	前年比
	日本: 住宅着工戸数 (1月)	81.3	84.4	85.2	万戸
	インド: 実質GDP (10-12月期)	+4.7%	+4.7%	+4.5%	前年比
	米国: 個人所得支出統計 (1月) ・ 実質個人消費	+0.1%	+0.2%	+0.1%	前月比
	・ PCEデフレ率	+1.7%	+1.7%	+1.6%	前年比
2月29日(土)	中国: PMI製造業景気指数 (2月)	35.7	47.4	50.0	ポイント
3月1日(日)	—				

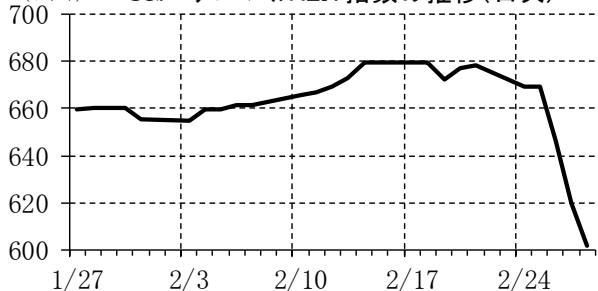
(ポイント) ホラティリティ指数の推移(日次)



(ポイント) ホラティリティ指数の推移(月次)



(ポイント) S&P グローバルREIT指数の推移(日次)



(ポイント) S&P グローバルREIT指数の推移(月次)



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	1.149	▲32.3	▲55.0	▲160.1	1.354	1.510	1.624
日本	-0.155	▲9.5	▲11.5	▲14.0	-0.060	-0.041	-0.122
ドイツ	-0.607	▲17.6	▲26.6	▲79.0	-0.425	-0.323	-0.388
豪州	0.818	▲12.0	▲13.4	▲128.5	0.986	1.117	1.147
株価							
NYダウ	25409.36	▲12.4	▲11.5	▲2.0	28575	28476	27323
日経平均	21142.96	▲9.6	▲8.9	▲1.1	23218	23489	22294
ユーロSTOXX50	3329.49	▲12.4	▲10.5	+0.9	3727	3733	3576
上海総合	2880.30	▲5.2	▲3.2	▲2.1	2937	2972	2945
為替相場							
ドル/円	107.77	▲3.4	▲1.3	▲3.2	109.80	109.39	108.40
ユーロ/円	119.11	▲1.6	▲1.0	▲6.0	120.03	120.82	120.32
豪ドル/円	70.09	▲5.2	▲5.0	▲11.3	73.34	74.46	74.16
ユーロ/ドル	1.1027	+1.7	+0.0	▲3.0	1.093	1.104	1.110
商品市況							
WTI	44.76	▲16.3	▲16.3	▲21.8	51.04	56.48	56.05
金	1566.7	▲4.7	▲0.2	+19.0	1592	1534	1483

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (2/24~2/28) の金融市場は、新型コロナウイルスの世界への蔓延が懸念され、世界的な株価が急落するなど、リスクオフの流れが一気に強まった。多くの主要株価指数が5日連続安となったほか、NYダウは27日に前日比▲1,190.95ドル安と過去最大の下げ幅を記録、前週末対比で▲3,500ドル以上下落した。一方、国債利回りは大幅に低下し、米30年国債利回りは過去最低を記録した。FRBのパウエル議長が28日に声明を発表し、利下げの可能性に言及したことも金利低下に繋がった。為替市場では低金利通貨高が進み、ドル円相場は1ドル=107円台で越週した。

今週のマーケットは、新型コロナウイルスの感染の拡大傾向を見守る展開が続こう。中国での新たな感染者の拡大ペースは鈍化している一方で、韓国では感染者が急増している。感染者の増加はイランやイタリアなど中東や欧州へも飛び火しているほか、ブラジルやメキシコでも感染者が確認された。今後は、中国以外からの感染者の移動による感染地域の拡大や市中感染が問題となる。潜伏期間を考えれば2週間程度でその兆候が確認されるはずで、しばらくの間は市場のリスクオフの流れは大きくは変わらないだろう。また、FRBが利下げに言及したほか、感染者が確認された国では景気対策を打ち出す方針なども示しているが、感染拡大が懸念されているさなかにこうした対策が景気を押し上げる効力を持つとも考えにくい。今週は、米国でISMや雇用統計の発表がある。2月段階の米国の統計では、足元のような感染に対する警戒感の高さなどが反映されていない可能性がある。しかし、一旦感染が爆発的に拡大すれば、経済活動に甚大な影響を及ぼすリスクがあることを、29日に発表された中国の製造業と非製造業のPMIの急低下 (製造業 50.0→35.7、非製造業 54.1→29.6) が示している。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
3月2日(月)	日本：法人企業統計(10-12月)・設備投資(除ソフト) ・経常利益	★	▲2.0%	▲2.6%	前年比
	日本：新車販売台数(2月)・乗用車	★	—	▲5.3%	前年比
	中国：財新PMI製造業景気指数(2月)	★★★★	47.0	▲11.5%	前年比
	米国：ISM製造業景気指数(2月)	★★★★	51.0	51.1	ポイント
3月3日(火)	日本：消費動向調査・消費者態度指数(2月)		38.3	39.1	ポイント
	米国：自動車販売台数(2月)		1,690	1,680	万台
	豪州：金融政策委員会	★★	0.75%	0.75%	RBA政策金利誘導目標
	マレーシア：金融政策委員会	★	2.75%	2.75%	翌日物政策金利
3月4日(水)	ユーロ：消費者物価指数速報値(2月)・総合	★	+1.2%	+1.4%	前年比
	・コア	★	+1.2%	+1.1%	前年比
3月5日(木)	豪州：実質GDP(10-12月期)	★	+2.0%	+1.7%	前年比
	ユーロ：小売売上高(1月)		+0.6%	▲1.6%	前月比
	ブラジル：実質GDP(10-12月期)	★	+1.6%	+1.2%	前年比
	米国：ADP雇用統計(2月)	★★★★	+188	+291	前月差、千人
	米国：ISM非製造業景気指数(2月)	★★★★	55.5	55.5	ポイント
	カナダ：金融政策委員会	★	1.75%	1.75%	翌日物貸出金利
3月6日(金)	日本：家計調査(1月)・全世帯実質消費支出	★	▲4.0%	▲4.8%	前年比
	日本：毎月勤労統計(1月)・現金給与総額		+0.2%	0.0%	前年比
	米国：雇用統計(2月)・非農業就業者数	★★★★	+190	+225	前月差、千人
	・失業率	★★★★	3.6%	3.6%	
	・時間あたり賃金	★★★★	+3.0%	+3.1%	前年比
米国：貿易収支(1月)		▲488	▲489	億ドル	
3月7日(土)	中国：貿易統計(1-2月)・輸出	★★★★	▲23.5%	+7.9%	前年比
	・輸入	★	▲14.7%	+16.5%	前年比
3月8日(日)	—				

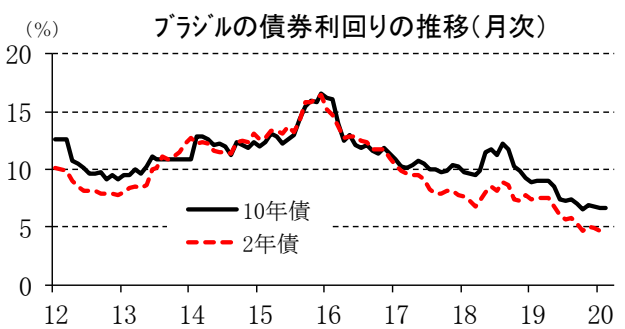
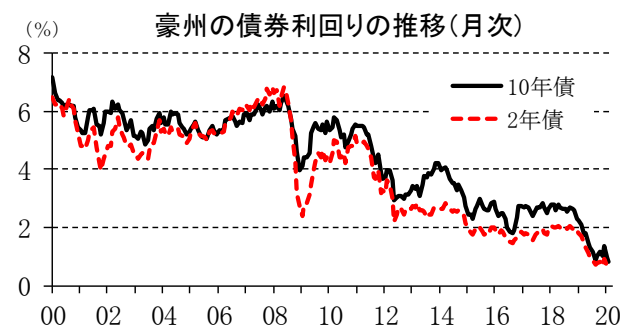
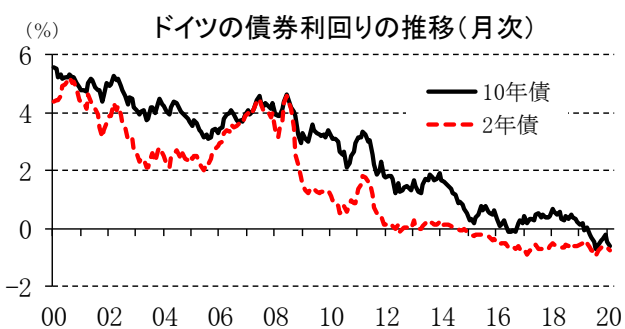
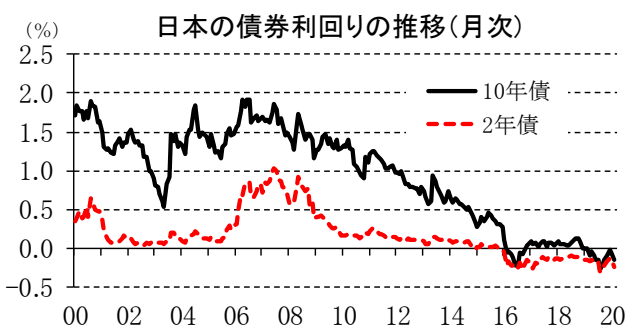
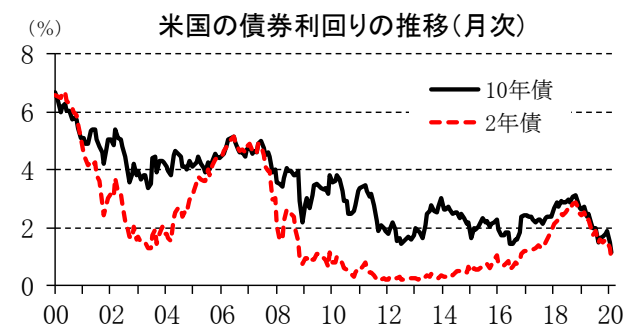
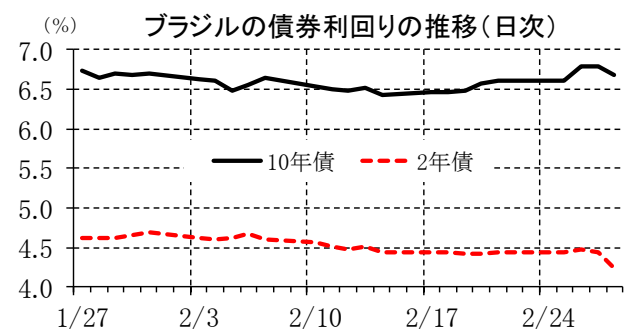
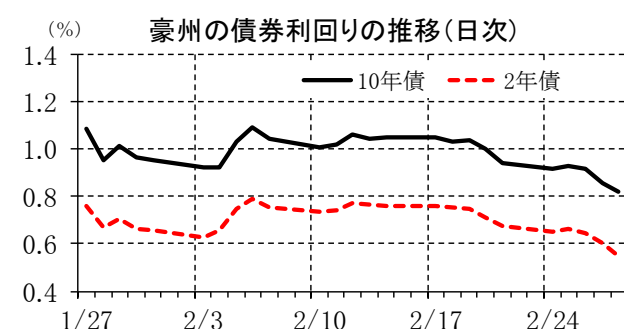
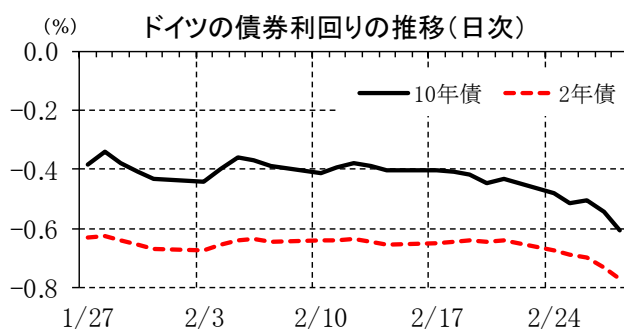
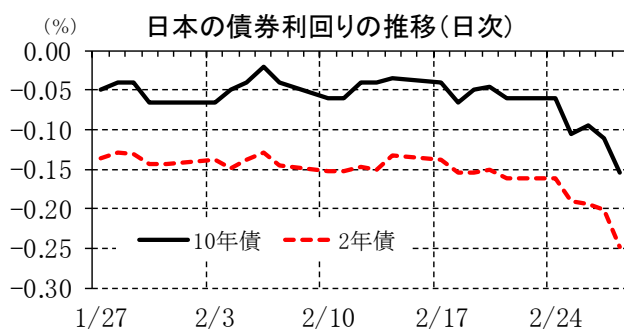
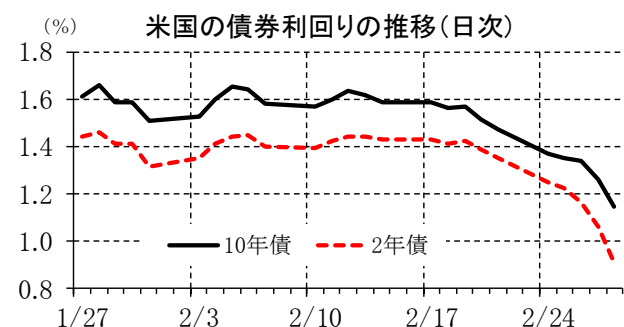
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## その他の注目イベント・材料

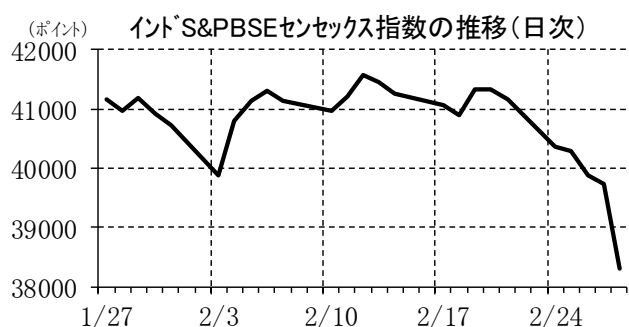
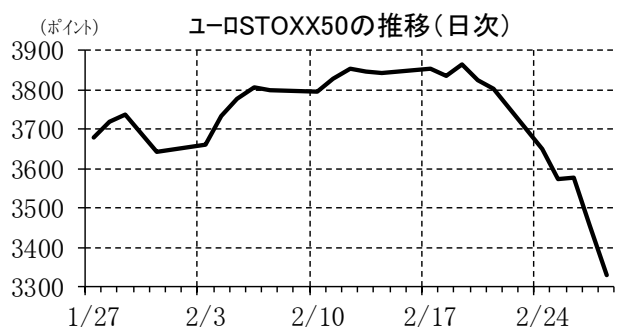
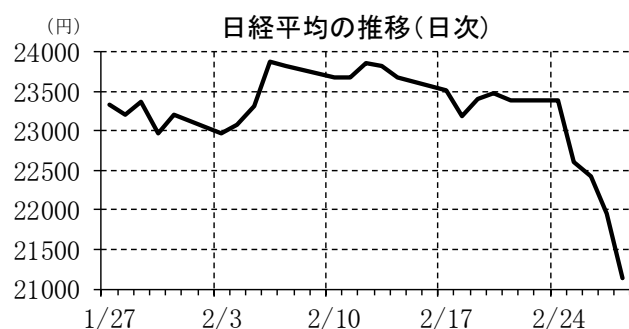
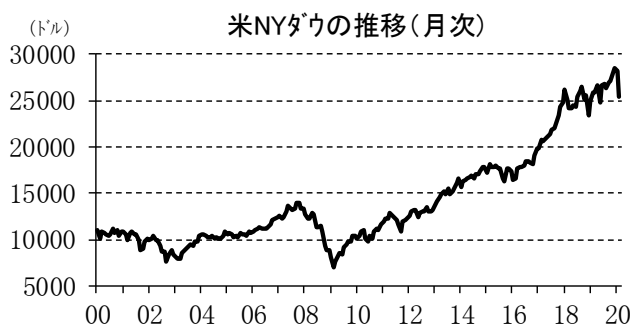
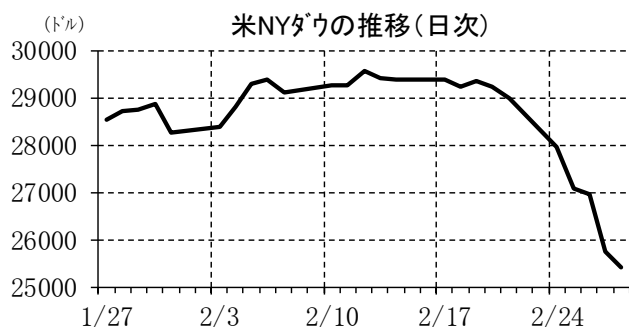
発表日	イベント	注目度	備考
3月2日(月)	イスラエル：総選挙	★	
	EU：英国との交渉開始		
	OECD経済見通し	★★	
3月3日(火)	米国：大統領選、スーパーチューズデー(14州)	★★★★	
3月4日(水)	米国：ヘッジファンド	★★★★	
3月5日(木)	英国：カーン-BOE総裁講演		
	米国：NY連銀総裁講演	★	
	OPEC臨時総会		
3月6日(金)	—		
3月7日(土)	—		
3月8日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

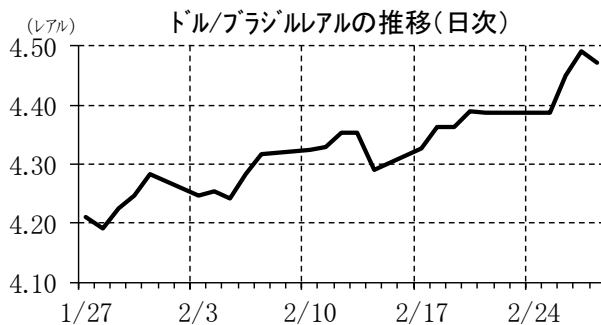
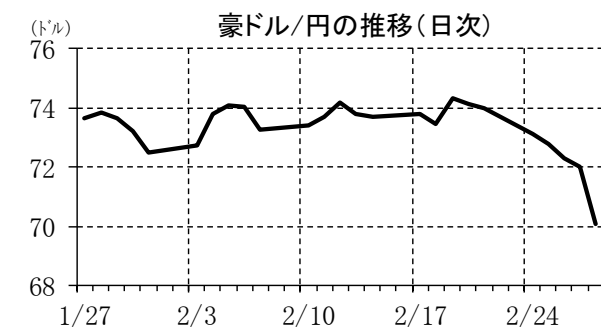
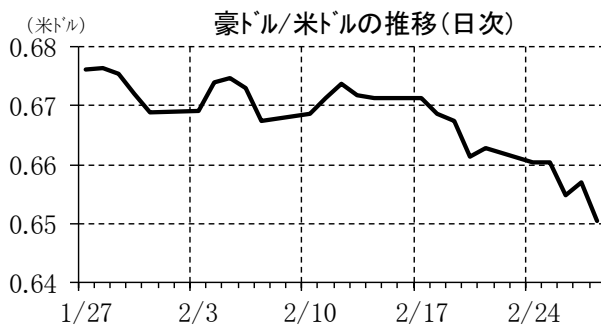
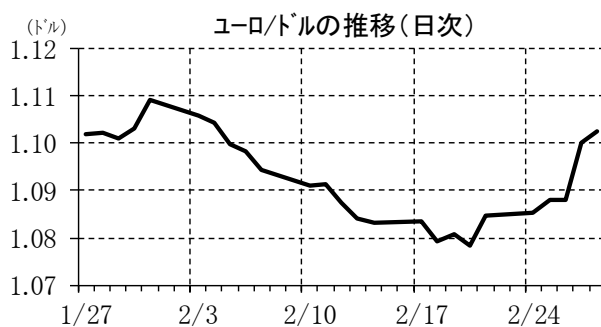
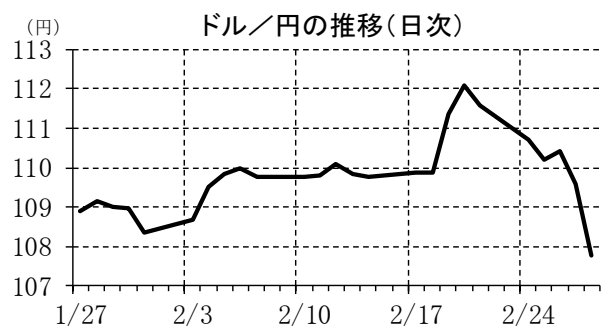
## 【債券利回り】



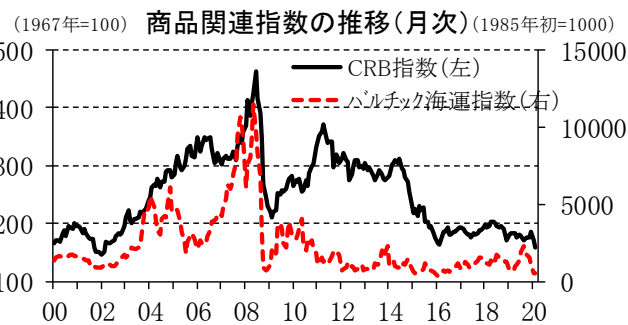
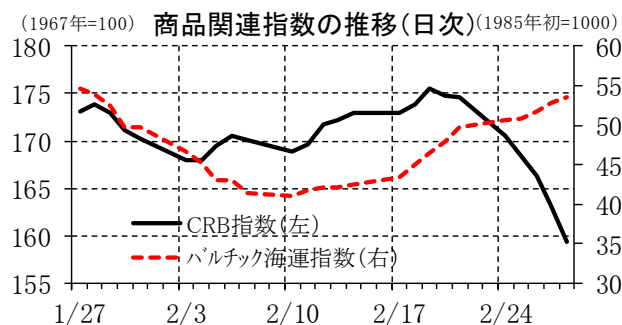
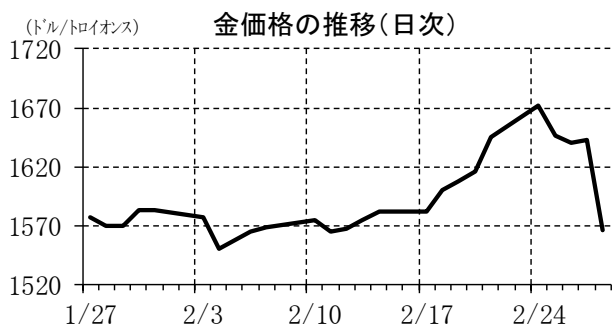
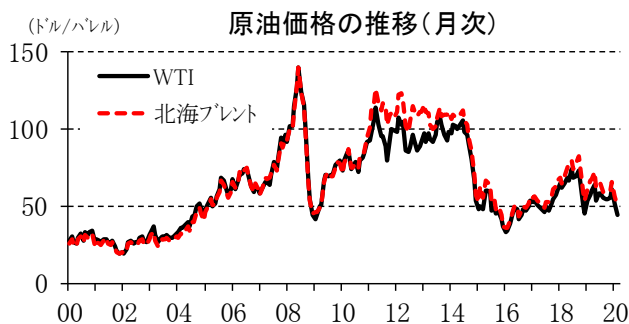
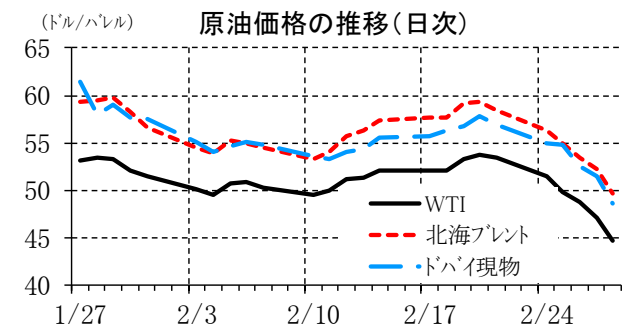
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。